




////////// **⚠ 注意** //////////

光センシング測定器(sm125-500)
 本体への光ファイバコネクタの接続は、
**必ず、APC研磨(斜め球面研磨)の
 コネクタをご使用下さい。**
 他のコネクタを使用すると
 本体コネクタ部が破損し
 故障の原因となります。

【単心コネクタのフェルルール研磨方法一覧】

コネクタの色は緑が多く、コネクタの
 先端をよく見ると斜めになっています。

研磨種類	形状	反射減衰量 (dB)	特長
PC研磨 (Physical Contact)		25以上	<ul style="list-style-type: none"> フェルルール先端を凸球面状に研磨し、光ファイバ同士を、隙間無く直接接合するための研磨方法。整合材無しで接続可能です。 マルチモードファイバの標準的な研磨方法です。
SPC研磨 (Super PC)		40以上	<ul style="list-style-type: none"> PC研磨後に、さらに低反射研磨を行い、反射特性を向上させる研磨方法です。 シングルモードファイバの標準的な研磨方法です。 AdPC研磨は、SPC研磨の1種で、主にNTTで採用されています。
APC研磨 (Angled PC)		60以上	<ul style="list-style-type: none"> フェルルール先端を斜め凸球面状に研磨し、反射光を光源側に戻さない様にする研磨方法です。 PC研磨 (SPC含む) との接続互換性はありません。 映像伝送などでよく用いられます。